

I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立むつ養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input checked="" type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	タブレットでたのしもう		
	単元(題材)の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アプリの操作方法が分かり、画面に触れて操作する。</li> <li>・好きな機能を選んだり、指を使って操作したりしながら線表現する。</li> <li>・約束を守り、友達と一緒にタブレット端末機を使って楽しむ。</li> </ul>		
学習集団と実態	学部・学年・人数	小学	部	4 年 5 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	タブレット端末の操作については、タップして操作する簡単なゲームアプリで遊んだり、タブレット端末をカメラとして使ったりする様子が見られる。タブレット端末をおもちゃとして認識している児童もいる。		
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	iPad		
	使用したアプリケーションの名称	キラキラ		
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 ( <input type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援 ) <input checked="" type="checkbox"/> 活動支援 ( <input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input checked="" type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援 ) <input type="checkbox"/> 学習支援 ( <input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援 ) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
	I C T 活用のねらい	タップ操作に加えて指でなぞる操作や自分で機能を選択しタブレット端末を操作できるようにする。		
活用の状況と支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○活用場面               <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びの指導</li> </ul> </li> <li>○行った支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット遊びとして、画面を電子黒板に映すことで、友達が指でなぞる操作の様子を確認できるようにした。</li> </ul> </li> <li>○児童生徒の様子・変容               <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットの画面を指でなぞりながら、タブレット上で絵を描けることを楽しむ児童が見られるようになった。一部の児童の中には、色や太さを変えて線を描こうとする表現が見られるようになった。</li> <li>・人差し指を使った操作が定着しておらず、指全部を使って操作しようとする児童もいた。</li> </ul> </li> <li>○今後について               <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の興味・関心のあるものと関連させることでタブレット端末操作への関心を高めたり、他教科の学習活動でもタップ操作やなぞる操作を取り入れたり汎用させたい。</li> </ul> </li> </ul>			